

2015年11月20日

海外インターンシップ（一般枠）募集要項

東京大学海洋アライアンス

海洋アライアンスでは、海外インターンシッププログラムとして、指定する国際機関・研究機関への募集を行っています。それとともに指定以外の機関についても、プログラム・実習内容が海洋アライアンスのインターンシップの趣旨（<http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/mabp/index.html>）と一致すると認められた場合には、一般枠での学生派遣として、航空券・宿泊費などの滞在費を支援することとしています。

今年度は一般枠として、以下の要領で募集を致します。選考にあたっては、実習先機関、実習テーマや内容の妥当性などから総合的に評価します。一次選考として書類審査、二次選考として書類・面接審査を行います。二次選考対象となった学生には直接連絡をします。なお実習の成果については、派遣先の機関に対してだけでなく、東京大学海洋アライアンスにも報告をして頂くこととなります。

1) 対象機関：

- (1) 海洋に関わる業務を遂行している国際機関
- (2) 海洋に関わる研究を実施している海外研究機関

※外部機関主催のプログラム、自身で海外機関へ連携・応募して行う実習のどちらでも可。

2) 実習期間：

- (1) 今年度（2016年1～3月）実習が開始されるインターンシップ（期間は2～6カ月）
- (2) 2017年4～9月に開始されるインターンシップ（期間は2～6カ月）

※(1)については、年度をまたいでも構わない。

3) 実習テーマ・内容

海洋に関わる自身の研究、あるいは海洋の諸問題解決に関わる自己研鑽につながる内容であること。

4) 選抜方法：一次選考：書類、二次選考：書類・面接

5) 応募資格：

- (1) 東京大学大学院の修士・博士課程に所属し、海洋アライアンスの海洋学際教育プログラムに登録していること。但し、プログラム未登録の場合でも、応募書類提出時に登録を行えば認めることとする。またプログラムを修了した学生（博士課程）でも構わない。
- (2) 海洋アライアンスで定めた誓約書の提出と、学研災付帯賠償責任保険及び海外旅行保険等への加入。
- (3) 実習終了後に定められた報告書類（全体報告書（日本語15ページ）、成果報告書（英語・日本語15ページ、要旨集（日本語6ページ））を提出すること。詳細は、派遣決定後に連絡する。
- (4) 海洋アライアンスが主催する成果報告会・シンポジウムにおいて発表を行うこと。

6) 応募書類

<一次選考>

(1) 履歴書（東大書式、写真貼付）

※職歴等は特記事項に記載する。

※TOEIC, TOEFL等のスコアがあれば、「免許・試験・資格等（その他）」に記載する。

※その他、特記事項があれば記載する。

(2) 実習計画（A4 1枚程度）

実習背景（実習先機関との自身の研究テーマや自己研鑽内容との関係性も含む）と目的、具体的な計画を記述する（日本語で可）。

<二次選考>

(3) エントリーシート（wordファイル）

実習テーマを記述し、自身の専門を踏まえてどのように課題に取り組むか、その計画の概要を英文にて300～350 wordsでまとめること。

(4) 指導教員からの推薦状

書式は定めないが、応募者の専門・研究テーマを踏まえ、実習機関でのインターンシップへの推薦理由を記述した内容とする。指導教員の署名したものをpdf化して提出する。
※公共政策の学生は個別に相談すること。

6) 書類提出先：

以下の宛先に、(1), (2)の書類をメール送信すること（(3), (4)は二次選考時に提出）。

海洋アライアンス 特任准教授 山本光夫 (kaigai@oa.u-tokyo.ac.jp)（専用アドレス）

7) 提出期限：2015年12月14日（月）17時00分迄

8) その他：

- ・ 渡航費用（航空券、宿泊費など）は、海洋アライアンスの規定に基づき、原則として全額支援します。但し、他機関からの援助がある場合には一部となります。
- ・ 本募集（一般枠）による実習の実施は、現地での安全対策を含め、全て自己責任で行っていただきます。但し、安全面で問題が認められる場合には、派遣の取り消し（もしくは延期）を通知することがあります。
- ・ その他、質問等がある場合には、山本宛にメールで連絡してください。